

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。



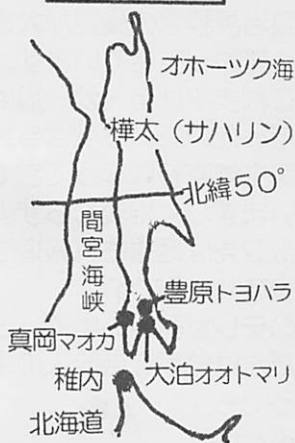
九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 112
2009(平成21)年10月2日(金)発行

＜1869年10月2日、インドの政治家・思想家、“インド独立の父”ガンディーの誕生日＞
○英国に留学し弁護士の資格を得て、商社の顧問弁護士として南アフリカに渡る。そこで自らインド人への差別や虐待に会い、人種差別政策撤廃運動に従事。○1915年インド帰国後、非暴力・不服従主義により、糸を紡ぐ運動をはじめ、塩専売法反対の「塩の行進」を行うなどインド民族運動を指導した。○インド独立後の1948年、狂信的ヒンドゥー教徒に暗殺された。
ガンディーの非暴力・不服従主義も、「憲法第9条」思想の源流の一つです。



戦中の樺太



数えるほどの米粒の「芋飯」
イモの間の米粒を数えるような「芋飯」

昭和十八年生まれの私にとってあの戦争は、爆弾や空襲といった思い出より、ひたすら空腹に耐えた厳しい日常生活の思い出といえます。
三歳半の時 樺太から引き揚げて
昭和二十年の終戦を樺太で迎えて以来二年間、私たち家族は樺太でロシア人に混じって生活していました。
昭和二十二年、樺太の南端の港町「大泊町」から引揚げ船に乗った時、私は三歳半でした。その時の日本の現実には「食糧難続行中」で、その後の生活も、「飢え」一色と言っても過言ではなかったと思います。引き揚げた原町では、知人の家の物置の、軒の片隅でスタートした生活は、まさに「極貧」そのもの。父が教員としていたたくわずかばかりの給料では、十分な食べ物が増えるはずありませんでした。



苦く、哀しく、おいしかった
思い出の味

南相馬市原町区益田 大原尚子

が普通で、どうやって米粒を掬えるか苦労したものです。いまだに大根葉から目をそむけてしまうのは、何にでも大根葉を入れて量を増やして食べた(ますい!) 歓迎できない思い出が、苦く心に染み付いているからだと確信しています。
友達のお婆さんからいただいた忘れられないトウモロコシの味
そんな中、初めて味わった天にも昇るような美味!!

近所の子どもと遊んでいて、その家のお婆さんが湯がいてくれたトウモロコシ。ろくに実の入っていない一本だったのに、一口ガブリと食いついたその時の感動は、毎日空腹に悩まされていた私にとって、一生忘れられない味になってしまいました。
「うまい!!」と目がテン!! こんな美味があつたんだという感動で、アツという間にガツガツと一本を食べ尽くし、よほど物欲しそうな顔をしていたのでしよう。お婆さんは孫たちの量が減ってしまうことに不満を抱えながら、仕方なさそうに鍋の底から、おそらくは最も貧弱そうなものを探して出して分けてくれたのです。

たとえ渋々であっても、たとえ貧弱であっても、当時おやつとして貴重だったトウモロコシを、孫の遊び仲間の新顔に分け与えてくれたこと、子ども心に深く深く感謝したことを忘れることができません。
○ ○ ○ ○ ○
「もったいない」捨てられる給食
やがて成人し、教職について感じました。

毎日残され捨てられていく給食の量の多いこと! 「もったいないなあ」と渋い顔をするのは、私と同年齢の先生方。高度経済成長以降に育ってきた若い先生方は、やはり何の思いもないようでした。誰の罪でもありません。飢えた経験の有無なのでしょう。
自作のトウモロコシに涙ぐむ
私が畑で野菜を作り始めて、十五年になります。

あの時の思いが心を揺すり、始めて種を蒔いたのがトウモロコシ。そして初めての自作のトウモロコシを口にした時、飢えに苦しんだあの頃の日々、あまりの美味しさにビックリした自分、仕方なさそうにもう一本を渡してくれたお婆さんの様子が、懐かしさ半分、物悲しさ半分で胸に迫り、涙ぐんでしまいました。
しかしこの数年、私の思いはかなえられませんが、作っても作っても、ハクビシンにやられてしまうようになりました。ハクビシンはトウモロコシだけでなく、私の飢餓体験、感激、感謝の思い出まで食べてしまいます。許せません!(本会員・イラストは大原さんご自身が描かれたものです)

“ニュースは作られるもの” テレビも新聞も 厳しい眼で、批判的に見ていきましょう！

- よく言われるように“ニュースは作られるもの”です。どれをトップニュースにするか、大小の扱いや、あえて報道しないで無視することもあります。テレビ局やディレクター、編集者の考えや思惑でどうにでも報道され作られます。
- 特に政治問題などは与党や政府の圧力で、意図的にねじ曲げられた特集番組も少なくないようです。マスコミを操作し世論誘導を行うのは、ナチスや大本営など、時の権力者の常套手段です。それらの報道や優柔不断な解説にだまされない賢い市民でありたいものです。
- そこで、原町区で一般的に視ているテレビの、親局と福島県の地方局の関係を考えてみました。



▲原町のテレビは、原町の真西、阿武隈の山並みのニツ森（標高560m）テレビ中継所のアンテナから電波が送られています。

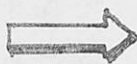
南相馬市で視聴できる アナログテレビの親局と地方局

全国の放送の元になっている中央局

キー局からネットワークされている地方局

親局(キー局・マスター・ステーション)

地方局(原町でのチャンネル)



NHKテレビ

1

(福島局8・仙台局3)

024(526)4660

NHKとはNippon Hoso Kyokaiの頭文字から。1925(大正14)年、愛宕山からラジオ放送を開始して今年で85年。受信料で経営。高評価の特集番組も多いが、政治的な公正さに疑問も。



tv asahi

テレビ朝日10

5



福島放送

5

(U48チャンネル)

03(6406)5555

024(933)1111

昭和32年開局したNETが52年に現在名に改称した。ネットワークはANN。朝日新聞系。「夏の高校野球」の後援や、「報道ステーション」などニュース番組にも特色がある。



フジテレビ

フジテレビ8

8



福島テレビ

8

(10チャンネル)

03(5531)1111

024(536)8000

昭和34年開局。フジサンケイグループの中核。ネットワークはFNN。サンケイ新聞系。放送局は人気のスポット、東京のお台場にあり、見学者も多い。



日本テレビ4

4



福島中央テレビ

4

(U58チャンネル)

03(6215)4444

024(923)3300

昭和28年開局。ネットワークはNNNという。日テレと呼ばれ、読売新聞系、プロ野球の巨人ジャイアンツ一色。「24時間テレビ」「大学箱根駅伝」など高視聴率の人気番組も数多い。



TBSテレビ6

6



テレビユー福島

6

(U50チャンネル)

03(3746)6666

024(531)5111

TBSはTokyo Broadcasting Systemの略。昭和30年開局。ネットワークはJNN。毎日新聞系。ラジオ局が東京放送。東京赤坂に放送局がある。

○総選挙後、解説者や政治評論家の論調が大きく変わってきています。これまでは自・公一辺倒だったのに、今度は与党民主党寄りになってきていますし、相変わらず少数政党は軽視され報道は少ないようです。

○テレビ番組の中で、ふだんは軽率な芸能人のようでも、ふとした発言のなかにその本音が出



ビートたけし

てくるものです。9月15日テレビ朝日系『緊急！世界サミットたけしWJAPAN』で、核武装と日本というテーマに触れた時、ビートたけしは、「戦争放棄をうたった日本国憲法は世界に誇れるものだ」ときっぱり言いました。小気味よい一言でした。



- ◇「NHKのニュースは政府の報道機関に成り下がっていて、だまされないように“なぜ”を3回くらい返して疑ってみることが大切です」(小森陽一さん・4月19日日本会の講演会で)
- また、「だまされることの責任」(佐高信・魚住昭の著書)ということもあります。
- ◇憲法第9条に関しても、政府が巧妙にマスコミを操作し、無意識のうちに改憲のムードを高めないと限りません。毎日のCMのリフレイン効果のように、くり返されると正しいと信じてしまいがちです。報道を常に批判的に、疑って見る態度を持ち続けていきたいものです。



「核兵器の恐ろしさは、その破壊力の大きさとともに、後々までも被爆者を苦しめる放射能の影響の大きさ、悲惨さにあり、被爆国である日本は、このことに対し、国際社会により広く、より深く理解を求めていく必要があります。」

(10月20日、75歳の誕生日に美智子皇后の言葉)